



ドイツサッカー留学&現地トライアウト



PSGのドイツサッカー留学は、ドイツのザールラント州で2001年に始まった **Projekt Saar**(プロジェクトザール)を発端としています。プロジェクトザールは、当時ブンデスリーガ2部に所属していた **1.FC Saarbruecken**(1 FC ザールブリュッケン)の協力により始まり、1 FC ザールブリュッケンのスタッフが日本を訪れ、才能ある日本人選手をドイツへと呼び寄せチャンスを与えました。

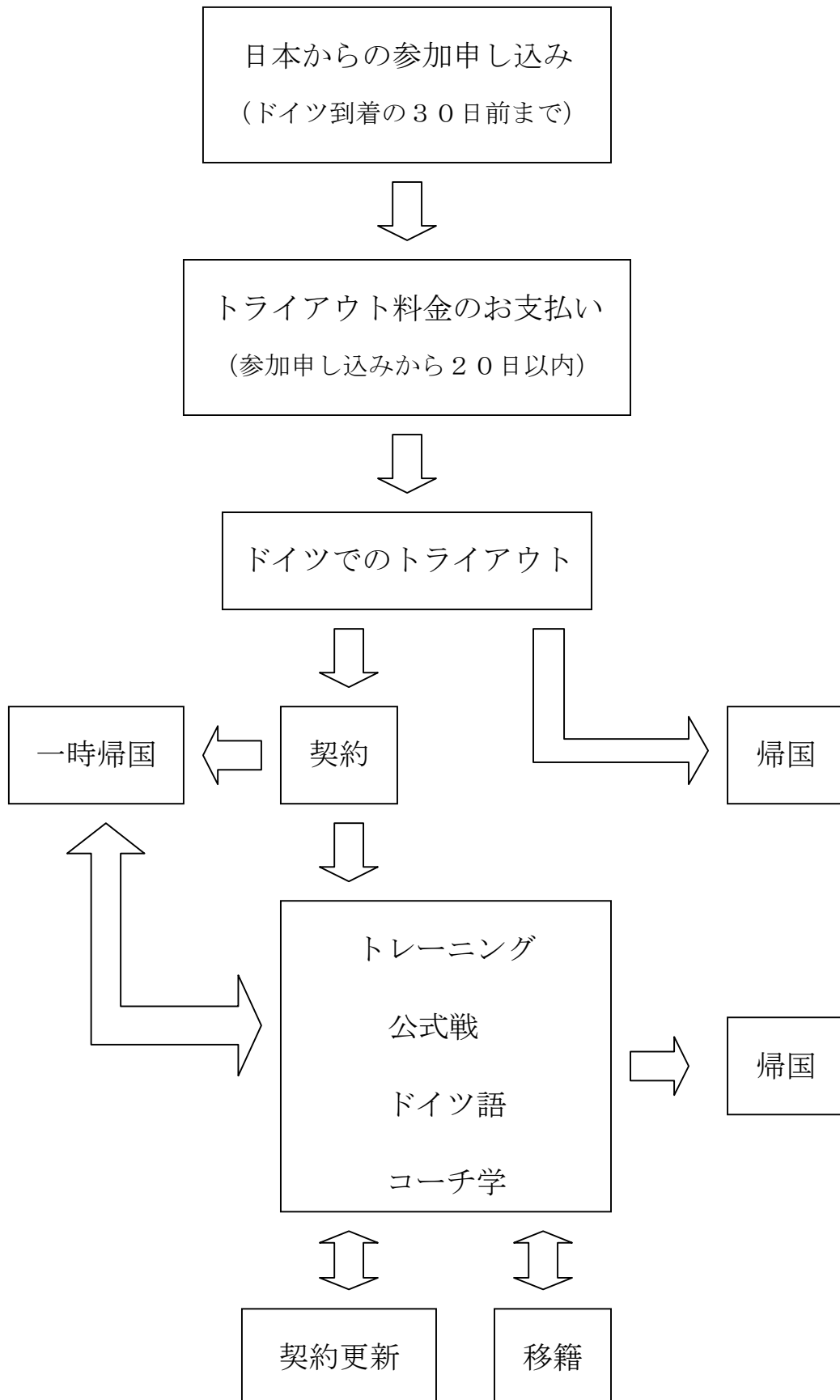
初年度は1 FC ザールブリュッケンの下部組織として日本人チームが結成され、結果を残した選手はサテライトチームやトップチームに召集され公式戦に出場しました。2シーズン目からは、それぞれの選手が自分の能力に合ったドイツのクラブチームに所属するシステムへと変更されました。選手たちはドイツの地元クラブの一員となることにより、サッカーだけでなく言葉や文化の違いにもより多く触れる機会を得ることができました。このシステムがその後も続き、選手はドイツの2部から7部リーグ、または海外のクラブにてプレーすることとなりました。

2006年から、プロジェクトザールのサポートに関わっていた **PSG** スタッフとプロジェクト1期生としてドイツ・チェコでプレーしプロジェクトのサポートにも携わった土屋が、ラインラント地域やルール地域を中心として日本人選手のサポートをしています。

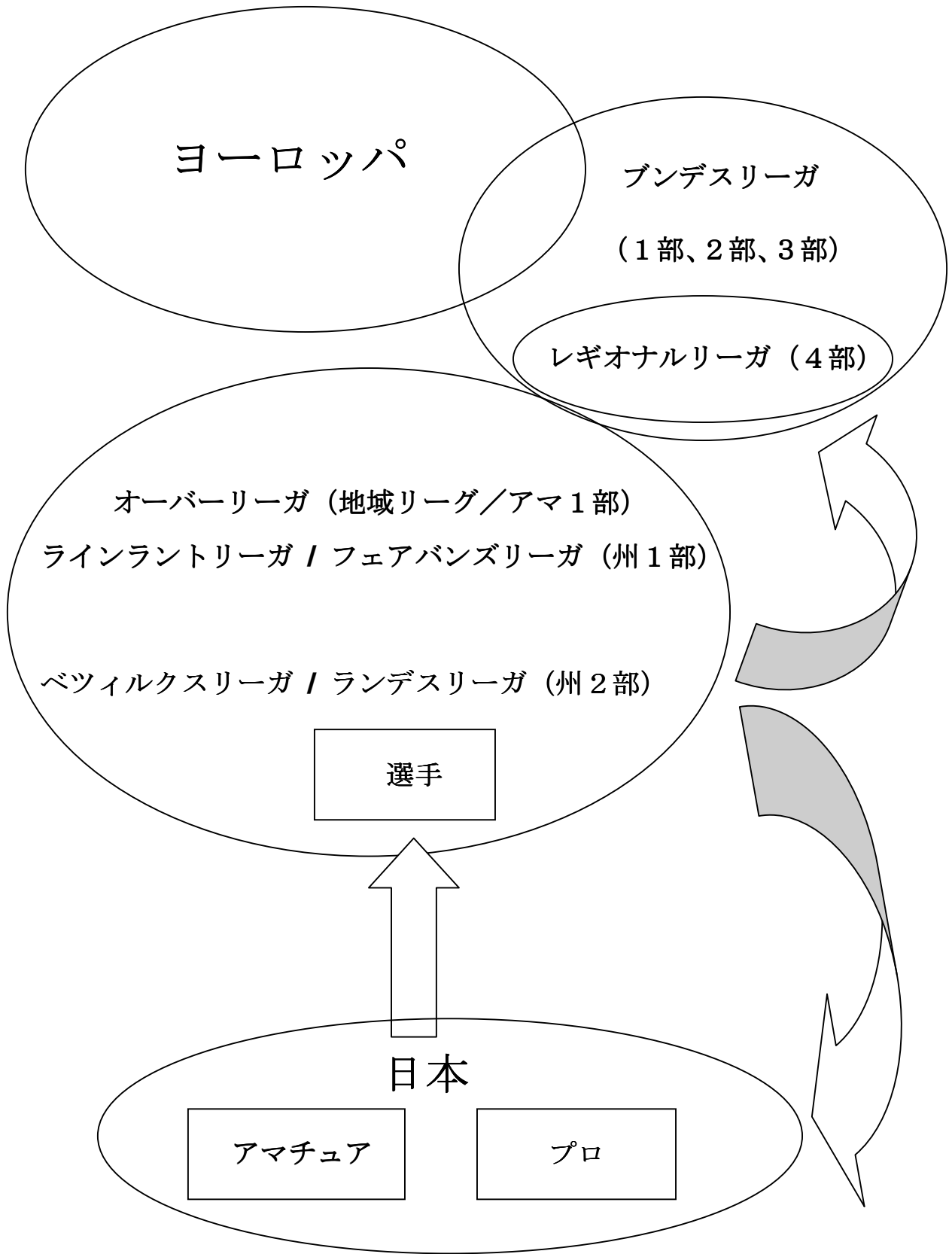
しかし、年間を通しての選手のサポートは、選手にとってもサポートする側にとっても経済的・時間的に大きな負担がかかります。また、長期にわたるサッカー留学がはたしてその選手の将来につながるのかという疑問もあります。そこで、PSGではドイツで長期留学を希望する選手のために1ヶ月というトライアウト期間を設けました。PSGは約1ヶ月の間、チーム探しや生活基盤を作るサポートをし、選手は実力に見合ったチームでトライアウトをしながら力を試されることとなります。チームが見つかるか見つからないかは実力次第ですが、条件が合えば選手とチームの契約に至ります。トライアウト後、ドイツに残る意思のある選手は自活していくことになりますので、その後サポートに対する費用は基本的にかかりません。ただし、サッカーや生活面でのサポートが必要な場合はその都度サポートします。

多くの選手がトライアウトやその後のサッカー生活で厳しい現実を突きつけられましたが、実力を示すことのできた何人かの選手は狭き門を突破してプロとしてプレーするチャンスを掴みました。

トライアウトから留学までの流れ



ドイツサッカーとその周辺図



ドイツサッカー 年間スケジュール

2008 年 4 月 - 5 月	<リーグ後半戦> トライアウト可能時期①
2008 年 5 月 - 6 月	<シーズンオフ> 契約可能時期①
2008 年 6 月 - 7 月	<前期プレシーズン> トライアウト可能時期② 契約可能時期② トレーニング、練習試合
2008 年 8 月 - 12 月	<リーグ前半戦> トレーニング、公式戦
2008 年 12 月 - 2009 年 1 月	<リーグ中断> 室内サッカー大会
2009 年 1 月 - 2 月	<後期プレシーズン> トライアウト可能時期③ 契約可能時期③ トレーニング、練習試合
2009 年 2 月 - 5 月	<リーグ後半戦> トレーニング、公式戦